

やまなし 市議会だより

平成27年 2月23日

第40号



節分の豆まきをしました（山梨市立八幡保育園）

市民の安全で平穏な生活を確保するための「山梨市暴力団排除条例」、 いじめ防止対策の推進のための「山梨市いじめ問題対策連絡協議会等条例」等を可決

子育て支援を充実させる「子ども・子育て支援新制度」に関する条例や、行政の効率的な事務執行のために組織再編をする「山梨市行政組織条例の一部を改正する条例」など、多くの条例案を可決しました。

平成26年11月臨時会は、11月28日に開催され、補正予算や条例改正など市長提出議案14件を審議し、すべての議案を原案のとおり可決及び承認しました。

平成26年12月定例会は、12月1日に招集され、19日までの19日間の会期で開催されました。この定例会では、条例制定・改正や補正予算など市長提出議案26件を審議し、すべての議案を原案のとおり可決及び適任と認めるとしました。

おもな内容

議案等審議結果	2～3	常任委員会の審査	8～9
市政一般質問	4～8	議会活動日誌・編集後記	10

12月定例会議案等審議結果

※賛：原案に賛成 反：原案に反対（古屋忠城議長を除く）

種別	議案番号	議案名	議員名													審議結果					
			木内健司	根津和博	武井寿幸	三枝正文	乙黒泰樹	矢崎和也	土屋裕紀	村田浩	深沢敏彦	大竹裕子	大村政啓	飯嶋賢一	古屋弘和		吉田昭男	雨宮巧	小野鈴枝	古屋雅夫	
条例制定・改正	第94号	山梨市暴力団排除条例について																		可決	
	第95号	山梨市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例について																			
	第96号	山梨市堀内財産区特別会計設置条例について																			
	第97号	山梨市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例について																			
	第98号	山梨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		
	第99号	山梨市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例について																			
	第100号	山梨市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等の基準条例について																			
	第101号	山梨市指定介護予防支援事業者指定条例について																			
	第102号	山梨市いじめ問題対策連絡協議会等条例について																			
	第103号	山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について																			
	第104号	山梨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		可決
	第105号	山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛		可決
	第106号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について																			
	第107号	山梨市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		可決
補正予算	第108号	平成26年度山梨市一般会計補正予算(第6号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決	
	第109号	平成26年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																			
	第110号	平成26年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																			
	第111号	平成26年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第3号)																			
	第112号	平成26年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)																			
	第113号	平成26年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第3号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		
	第114号	平成26年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第2号)																			
	第115号	平成26年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)																			
	第116号	平成26年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第3号)																			
	第117号	平成26年度山梨市水道事業会計補正予算(第3号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決	
その他	第118号	新市まちづくり計画の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決		
人事	諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 適 め ら れ る と		
請願	請願第6号	請願書 団体の自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、慎重審議を求める意見書採択の件	反	反	反	反	反	反	反	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	不 採 択		

市政一般質問 (代表・一般)

平成26年12月定例会の市政一般質問が12月15日・16日に行われ、代表質問を3人、一般質問を6人の議員が行い、市政全般について市の考えをいただきました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

山友会

大村 政 啓 議員



〈主な質問と答弁〉

問 人口減少対策について

本市の人口は合併から10年で3千人近く減少し、今後10年でさらに約1千500人の減少が予想され、約3万5千人となる。市税・普通交付税への影響や自治体規模の縮小といった問題がある。歯止め策として、公有地・工場跡地等を安価で提供し、定住人口の確保を考えてはどうか。

市長 望月清賢

各自自治体において喫緊の重要課題であり、県・市町村

が連携し対策するため、情報共有の場を設けている。市としては、市立産科医院による子育て環境の充実、空き家バンク制度の取組による移住者の確保、インフラ整備、第一精工山梨工場の規模拡張に伴う雇用の創出による定住促進や、全庁的な人口減少対策及び定住人口の確保に取り組む。

問 明年度(平成27年度)の予算編成における留意点と力点について

本市の標準財政規模は100億円前後であり、適正予算規模は150億円程と思われる。税収の落ち込み等、歳入不足が心配である。財政調整基金を取り崩しても重点施策を推進していくのか伺いたい。

答 市長 望月清賢

明年度の予算規模について、「まちづくりの3本柱」を重点施策とし、戦略的な予算編成を行うことから、180億円台となる。人口減少、少子高齢化の進行、経済情勢の閉塞感を払拭するためにも、チャレンジミッションに財源を集中させ、必要により財政調整基金を取り崩していきたいと考えている。

問 小規模校(小学校) 解消に対する検討内容及び統合を見据えた考えについて

①小学校ごとの教育環境検討説明会において出された意見の内容について伺いたい。
②小規模学級が児童に及ぼす影響について伺いたい。
③小中学校適正規模研究報告による望ましい学校、学級規模とは程遠い現状だが、どのように考えるのか伺いたい。

答 教育長 丸山森人

①牧丘第一小学校の説明会では統合することが良いとの意見が多数。また統合後の校舎の活用やスクールバスの運行についての課題が出された。牧丘第二小学校では存続して欲しいとの意見が多数。また保護者間の会議がしたいなどの意見があった。牧丘第三小学校では統合もやむを得ない、統合する場合は4校一緒にして欲しい。心のケアに配慮して欲しい。保護者の考えを尊重するが、地域の振興策にも力を入れて欲しいといった意見が出された。三富小学校ではできるだけ早い統合を望む意見が多数で、統合するときは4校一緒にして欲しい、児童の精神的な不安を解消する対応を、との意見も出された。②メリットとして個に

じたきめ細やかな指導ができる

るなど、デメリットとして多様な考えや意見を出し合い、互いに学びあう側面が弱く、集団生活における社会性の醸成が図りにくいなど。③適正規模化を図り、子供の自立とより良い学びができる環境づくりと、地域・保護者と学校が連携できる学校づくりが重要と考える。望ましい方向を検討し、本年度中にはスケジュールを提示したい。

〈その他の質問〉●公共交通

改革の進捗について●第1次総合計画の達成状況について●財政について●各種団体(法令、法令外団体)への補助金の交付効果について●国保会計の現状と改善点について●下水道使用料徴収条例の改正について

新翔会
三枝 正文 議員



〈主な質問と答弁〉

問 地方創生について

①「人口減少の克服に向けた対策」についての意気込みを伺いたい。

②山梨市の農業の活性化について伺いたい。
③市の雇用対策についての考え方を伺いたい。

答 市長 望月清賢

①人口減少の克服については、国が打ち出す「地方創生」長期ビジョン等に則し、年明けに具体的指標を立て、計画の推進を図るとともに、総合戦略に位置付け可能な施策については取り組んでいく。

②農業を活性化するには「儲かる農業」を実現することだと思っている。生産者とJAが連携しながら、農産物に付加価値を付ける6次産業化への取組を推進していく。農家が事業創生や生産改革などにチャレンジできる環境を整え、また、経営感覚を持った農業者の育成を図り、儲かる農業を実現できる施策を推進する。

③雇用対策については、企業が進出しやすい環境の整備や人材確保に協力するとともに、既存企業への各種助成制度の周知や継続的な支援体制を整えていく。また、旧市役所跡地については、大学の誘致や医療系の企業誘致などを視野に入れ調査研究を進めており、若者の流入を図っていく。市民が豊かな生活を営めるよう、

インフラなどの環境整備に努めるとともに、地域の特性を生かした魅力ある多様な就業の機会の創出を図れるよう、企業誘致や雇用拡大に努める。

問 鳥獣害対策について

①「捕獲用箱わな」の貸し出し状況（貸出件数、捕獲獣の処分方法、捕獲は許可が必要か等）について伺いたい。
②「鳥獣保護管理法」改正により何が変わるのか伺いたい。
③本年度取り組んでいるサル対策の効果について伺いたい。

答 農林商工課長 若月 清

①捕獲用箱わなの貸出状況について、
・アライグマについて、18基貸し出して3頭捕獲している。
・捕獲したアライグマについては県の防除実施計画により、研究機関等へ搬送し処分している。なお、アライグマのわな設置や捕獲後の運搬は、有資格者でないといけないため、市職員が行っている。
・ハクビシンについて箱わなの貸し出しは行っていない。
また、捕獲した場合は、有害鳥獣として、捕獲者による処分・埋設をお願いしている。
②「鳥獣保護管理法」の改正により次の4点が期待される。
・「指定管理鳥獣捕獲等事業」

の創設により、頭数管理が必要な鳥獣について、県や国自らが計画を定め、効果的な捕獲等が実施できるようにする。
・認定を受けた法人等が「指定管理鳥獣捕獲等事業」の受託者となれることから、捕獲の担い手の確保につながる。
・住宅集合地域等において、麻酔銃による捕獲ができるようになり、生活環境被害の防止が図れる。

・わな猟免許等の取得年齢が、20歳から18歳になることで若手担い手の確保につながる。
③サル対策については、発信機を付けた追跡調査等を行い、上半期で9頭を捕獲した。
〈その他の質問〉
●徘徊SO Sネットワークの取組について
●市が管理している集落表示板等の整備について
●保育士の職員採用について
●再生可能エネルギー普及促進について
●公共施設の老朽化対策の推進について
●過疎地域自立促進計画の最終年度に向けて
●県道柳平塩山線整備の現状と進捗状況について
●リニア中央新幹線と観光について

市民の会
村田 浩 議員



〈主な質問と答弁〉

問 農地利用のあり方について

地域の実態に応じた土地利用が図られるよう「農地法」や「農振法」の規制緩和や弾力的な運用ができないのか。

答 市長 望月清賢

本市の基幹産業である農業振興のため優良農地の確保・保全を行うとともに、人口減少対策が喫緊の行政課題となっている状況から、雇用創出と定住促進が期待できる企業誘致などの用地確保に努め、土地の有効利用を図りながら、行政の発展に取り組みたい。
問 将来を見据えた「街づくり」について
①山梨市駅に橋上イベント広場の併設を提案したい。
②「ど根性ガエル」を市のキャラクターとして使用してはいいかがか。
③「歩いてみたくなる山梨市」づくりの提案をしたい。

答 市長 望月清賢

①JR東日本とも協議し南北をつなぐ歩行者道路の役割にとどまらず、バリアフリーに優れた「おもてなしの心」を示す設備やスペースが出来るような設計を進めたい。
②全国高校総合ウエイトリフティング大会において、うちわ等に「ど根性ガエル」を使用したところ、好評だった。吉沢先生の協力を仰ぎながら前向きに検討していきたい。
③「かのがわ古道」「根津記念館」「万力公園」及び「差出の磯」に代表される笛吹川の風景を結ぶ遊歩道との連結により、観光と地域の活性化を狙うルート作りを進める。市を訪れる方々に歴史・文化などの魅力的な地域資源を紹介し、豊かな自然環境と実り豊かな果樹、勤勉で穏やかな市民気質なども併せて紹介し「にぎわいの創出」を目指す。

問 下水道事業経営計画について

①本市の下水道経営計画の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。
②公営企業会計適用の目的と効果、今後の予定について伺いたい。

答 下水道課長 小池正樹

①平成25年度末における進捗状況は整備状況において平成33年度末目標面積915・2haに対し755・9haであり計画通りである。普及状況は目標水洗化人口1万5千929人に対し1万3千347人と順調に増加している。
②公営企業会計適用により経営成績や財政状態・資産の適正な把握により、経営目標の継続的な点検や修正、経営基盤の計画的な整備が可能となり、経営状況の透明化とトータルコスト把握と料金算定が可能となる。

問 有用金属と再生可能エネルギーへの取組について

答 環境課長 杉田 哲
小型家電リサイクルについては7月1日より小型家電回収箱を設置し試験的に収集を開始した。また環境センターにおいても不燃物として処理せずに再資源化に取り組んでいる。12月現在の回収量は25kgの状況である。新年度配布の「ごみカレンダー」に対象品目などを掲載し継続的な回収の推進を図っていく。

問 災害時の対策について

市長 望月清賢

最悪な事態を見据えた地域防災計画の見直しや、マニュアル等の作成作業を進めている。また、「自主防災組織指導者講習」等により、市民の防災意識の高揚にも努めている。大規模災害時には「公助」を求めても時間がかかるため、地域の助け合いの仕組みづくりなどを行いたい。

一般質問

市民の会

古屋 雅夫 議員



〈主な質問と答弁〉

問 中期財政見通しに基づく財源確保、収入増加策について

①市長が掲げる「市税等の源泉の涵養に努める」との考え方について②財源確保は日々の努力と実践が必要。市所有の未利用地の処分の方について③土地の売却単価の決め方について伺いたい。

答 市長 望月清賢 ①中期的な見地から財源

確保と収入の増加が必要、そのためチャレンジミッション

(インフラ整備・南口整備等)による定住促進、地域資源を活かした産業の活性化、子育て環境整備等)による人口の増加を目指す。②市所有地の売却をこの5年間で、約5千657㎡行い約2千500万円収入を上げている。この方針を今後踏襲したい。③土地の売却価格は不動産鑑定価格を基準にして、固定資産評価、各近傍の土地単価を参考に決めている。市の手数料は2%。

問 小規模校(牧丘・三富)に対する説明会を踏まえた今後の方針と考える

答 市長 望月清賢 小規模校になったから

「統合」も仕方ないのでなく、現状の中で理想的な教育環境をつくるにはどうすればよいかという視点で、①適正規模化を図り子ども自立とよりよい学びのできる環境をつくること②地域・学校・保護者が連携できる学校をつくることが必要。それを踏まえ、26年度中にはスケジュールを提示し取り組んでいきたい。

答 市長 望月清賢 山梨市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の新

設等について●新市まちづくり計画・市立産科医院の基本構想等について●過疎地等における除雪対策について●三富保育園の今後のあり方について

吉田 昭男 議員



〈主な質問と答弁〉

問 防災・減災への万全の備えを着実に推進を

①市内の防災無線難聴地域解消のため、専門家による調査と早期改善を求めたい。②障害者・高齢者の迅速、安全な避難のため、車いすの配備、FMラジオ貸与、エリアメール、映像放送の検討を求めたいかがか。③安全で良質な井戸水の調査を行い、災害時の協力を依頼してはどうかか。

答 市長 望月清賢

①区長から状況の聞き取りを行い、保守委託業者と難聴地域の解消に向けた対応を協議し、スピーカーの向きや角度など調整し、対応している。防災無線の内容確認は電

話応答サービスを行っているので、利用いただきたい。

②車いすの配備、FMラジオ貸与は避難所の管理者等と協議、研究したい。エリアメールは情報をいち早く伝えられるよう防災情報の整備を行っている。また、県ではLアラート(自治体等情報発信者とマスコミ等情報伝達者が情報基盤を共有し、効率的な災害情報伝達を実現するシステム)が利用できる環境整備を今年度中に行う予定である。

③関係機関と協議し、調査も含めて有効利用の検討をしていきたい。

問 幹線市道の跨線橋化について(①山梨市駅東山梨線の延伸について、県との協議はどのようになっているのか②落合正徳寺線の跨線橋施工が優先された経過と理由を伺いたい③市役所前通り線の東部延伸の見通しと問題点、今後の方針について伺いたい) ●就学援助適用拡大と幼稚園奨励費の大幅な増額を求める ●公共下水道料の値上げについて ●引きこもりのサポートステーション設置について

答 市長 望月清賢

市民の会

小野 鈴枝 議員



〈主な質問と答弁〉

問 女性幹部の登用について、市長の考えは

本市では審議会等への女性登用の数値目標が示されているが、現在の状況はどうかか。また来年の機構改革も踏まえ女性管理職登用についての市長の考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢

市の審議会等への女性登用の状況は、平成25年度16.0%であり、23年度16.1%と比較し横ばいである。市では第二次山梨市男女共同参画基本計画の中で、平成28年度までに審議会等委員への登用の数値目標値を30%と定めているが、各種団体の代表者を選出する委員会も多く、数値が伸びていない。引き続き女性参画を拡大する体制を研究したい。管理職登用については、課長27名・課長補佐37名の内現在6名であり、9.4%である。今後女性の課長職を増やしていくものと思っている

が、さらに必要な研修等環境整備を充実させ、男女問わず優れた管理能力を備えた人材を登用したい。

問 チャレンジミッションの取組について

チャレンジミッションの中間案の中に、直売の機会を提供するためJR等と連携して山梨駅前でのマルシェを開催とあるが、街の駅やまなしを常設の産地直売所とする考えはないのか、伺いたい。

答 市長 望月清賢

街の駅やまなしに常設の産地直売所を設置することは、建設時の交付金の目的外使用にあたり困難。農業者などの生産物を販売する団体等が主体となり利用申請することは可能である。その場合、他の利用者との調整が必要である。〈その他の質問〉●山梨市いじめ防止基本方針の策定について●消費税再増税延期について

山友会
根津和博 議員



〈主な質問と答弁〉

問 新市まちづくり計画の変更について

①市町村合併の特例に関する法律により設置された地域審議会は、平成26年で終了とされているが、行政サービスが隅々まで届くよう、新市まちづくり計画の変更と併せて五年間延長してはいいかがか。

②公設民営方式の産科施設の提案がなされているが、併せて産後ケアを含めた女性の再就職支援・子育て支援センターなど複合施設として計画してはいいかがか。

答 市長 望月清賢

①地域審議会に代わる組織として新たに「まちづくり委員会」を創設し、住民意見を十分に市政に反映していきたいと考えている。さらに下部組織として各地域に「住民の声を聞く会」を結成したいと考えている。

②産後ケアについては分娩入院期間の延長を考え、母親が希望する場合2泊まで市が補助する。また、デイケアルームを設け、母親の悩みや不安の相談を受けたり、乳房ケア等肉体的ケアや、付加機能として中高生への思春期事業・両親学級等行う。再就職支援と子育て支援センターの複合

化については、それぞれハローワークと市役所で担うことが効果的と考える。

〈その他の質問〉●山梨市バリアフリー基本構想について●認定こども園について

新翔会
武井寿幸 議員



〈主な質問と答弁〉

問 大雪に対する除雪対策について

除雪の優先順位付けなどの対策と、道路除雪の基準について伺いたい。

答 市長 望月清賢

市では除雪時に市建設協力会との協定に基づき市内幹線道路の除雪作業を行なっている。除雪の優先順位については建設協力会会員との業務範囲を決め、主要な道路の交通確保を第一に行なっている。また、基準について、積雪深10cm以上の場合に除雪する。

問 県道路除排雪計画について

県が策定した除雪最優先路線は22路線で、本市を縦断する国道140号は除雪最優先路

線に指定されていない。どうして指定されていないのか伺いたい。

答 市長 望月清賢

除雪最優先路線は県外とのアクセス道路及び県内の骨格となる道路が指定されており、中央自動車道、国道20号等や、高速道路ICへの接続道路が該当する。国道140号は除雪最優先路線に続いて優先的に除雪する、除雪優先路線に指定されている。

問 除雪機械の貸与と購入助成について

過疎化と高齢化が進み、人力での除雪は限界がある。除雪機の貸与及び集落や区において除雪機を購入する際の助成等の対応策について伺いたい。

答 総務課長 飯島尚敏

これまで除雪機の貸与及び購入に伴う助成などの要望は寄せられていないため、現時点では検討していない。要望等があった場合には降雪の状況や自治会への対応を検討していききたい。

公明党
大竹裕子 議員



〈主な質問と答弁〉

問 山梨市営バスの料金について

山梨循環線と牧丘循環線の障害者の割引料金はどのようになっているのか。両地域での格差があるとしたら公平にすべきである。牧丘循環線の障害者の料金を、山梨循環線と同じく無料にすべきである。

答 市長 望月清賢

山梨循環線は、障害者手帳・療育手帳等の提示により無料である。牧丘循環線は、福祉作業所に通所している人は無料であるが、そのほかは無料となっていない。市民バスは、市民の移動手段の確保と福祉の増進という目的で行っているもので、現在生じている不均衡は解消していく。

問 山梨市道の管理について

各区から市道舗装の要望などがあつた場合、2メートル以上4メートル未満の道路舗装は市で施工せず、原材料支給として各区が行うことと

総務

なっている。県内13市中、山梨市以外の12市全てが、認定した市道については幅員にかかわらず、全て市が舗装や修復を行っている。本市も原材料費の支給という方法を改め、市道は市が責任を持って舗装等施工すべきである。

答 建設課長 清水一彦

原材料支給の場合、高齢化や人口減少に伴い、区で作業が出来ない状況もある。市では、明年度から4メートル未満の市道について、舗装の打ち換え及び修繕等を直接施工する。なお、一度に多数の路線を実施することは財政上厳しいので、地域の要望も踏まえ、原材料支給の対応方法も平行して進めていきたい。

〈その他の質問〉●山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について●幼稚園奨励費について

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は12月17日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。質疑の要旨(抜粋)は次のとおりです。

○議案第百三十三号、山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について

問 機構改革によって、市民サービスの向上が期待されるが、単に課を再編しただけでは目的が達成できるとは思えない。職員の増員が必要と考えるが、いかがか。

答 職員数は現状のままとして業務量に応じた人員の割り振りを行うことで対応する予定である。平成27年度の新規採用予定者数の決定も、退職見込者数により判断した。なお、平成28年度以降においては、状況により必要であれば、定員適正化計画と併せて検討することになる。

○議案第九十四号、山梨市暴力団排除条例について

問 条例の制定後は、この条例が十分活かされる運用をすることが望まれる。市民個人に関係する問題もあるかと思われるが、どのような考えに基づいて運用するのか。

答 この条例は県と連携した形で制定するものである。運用においては行政だけでは対応できない面もあり、警察と連携を図り対応していく。

○議案第九十六号、山梨市堀内財産区特別会計設置条例について

問 提案された特別会計設置条例は、森林整備事業を実施することから特別会計を設置するものであるというが、地方自治法の規定では、財産区は特別会計で運営することになっていないのではないか。

答 財産区が大きな事業を実施することをきっかけとして、その収支を分別することが適当であるということから、特別会計を設置した経過がある。市内にある15の財産区のうち、すでに特別会計を設置している財産区は11あるが、その他の財産区については事業を行っていないため、特別会計を設置していない。

現地調査として、東山梨駅前設置している防犯カメラの作動状況及び映像の状況と、総務課内に設置してある消防救急デジタル無線機、Jアラート及び防災行政無線設備の視察を行いました。



東山梨駅前防犯カメラの作動状況を確認しました

建設経済

総務常任委員会
委員長 大竹裕子
副委員長 三枝正文
委員 古屋忠城 根津和博
深沢敏彦 吉田昭男

○議案第百五十五号、山梨市下水道使用料等徴収条例の一部を改正する条例について

問 今回の条例改正で使用料金を改定する理由は何か。

答 今回1㎡当たり22円値上げするという事だが、利用者への周知の方法はどうするのか。平成23年度に策定された下水道事業経営計画において、加入者の増加と段階的な料金改定により使用料の増収を図り、総務省の基準による一般会計からの基準外繰り入れをなくすことを目指している。水洗化率も含め、計画は順調に進捗しているため、

料金改定も経営計画に基づき進めたい。また、周知の方法については、「広報やまなし2月号及び3月号へ掲載すると共に、ホームページへも掲載し、周知を図る予定である。企業に対しては、個別に通知を出し周知を図る。

○議案第百八号、平成26年度一般会計補正予算(第六号)関係付託部分について

問 スカイツリーの観光PRブースへ出展するという事だが、場所はどこか。

答 平成27年2月20日から26日まで、東京ソラマチ5階にある、全国観光PRブースで行う。

問 「農地・水保全管理支払」が「多面的機能支払」に変わり、交付金の補正をするのは何故か。

答 平成27年度から「多面的機能支払」となり交付単価が増えたことによる。

要望事項

◆下水道使用料の改定について、市民にわかりやすく説明すること。

現地調査として、山梨市駅の視察を行いました。



山梨市駅の視察の様子

建設経済常任委員会委員会
 委員長 古屋弘和
 副委員長 矢崎和也
 委員 土屋裕紀 村田浩
 大村政啓 雨宮巧

教育民生

○議案第九十七号、山梨市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例について

問 既存の施設が認定子ども園に変更する場合には、施設面においてどのような設備や改修が必要となるのか、また、補助をする場合の補助割合はどのようなものか。

答 例えば幼稚園が保育園機能と併せ持つ認定子ども園となる場合には、厨房・沐浴室・調乳室・保育専用室が必要となる。今回補正する予算についてはこの改修費用の補助部分が盛り込まれており、補助対象経費が約1千2百万

円、そのうち県負担が2分の1、市負担が4分の1、事業主負担が4分の1の補助割合となっている。
 ○議案第百二号、山梨市いじめ問題対策連絡協議会等条例について

問 条例の趣旨となっているいじめの早期発見について、いかに早期発見を実現するか各校から問題を吸い上げるマニュアル等はあるのか。

答 市内全小中学校の児童・生徒に年2回いじめに関するアンケートを実施し、実態の把握に努めるようにしている。アンケートの結果は全保護者に文書にて通知している。また、担任が連絡帳や日々の変化を観察し、必要に応じて指導するようにしている。

問 登校拒否等への対策については、問題が小さな段階においてのシステム作りが大切である。問題を学校の中に留めておかないように注意が必要である。

答 学校においても個人で悩み解決するのではなく、組織で解決していくような体制を作っている。また現在、問題があった場合には教育長のところまで情報が集まるようになってきている。なお、重大

事態が発生した場合には山梨市いじめ問題専門委員会において調査を実施し、市長においてさらに調査が必要と判断した場合には山梨市いじめ問題調査会が独自の調査を行う体制となる。

○議案第百八号、平成26年度一般会計補正予算(第六号)関係付託部分について

問 エアコンの設置について、費用の内容と、設置数を伺いたい。

答 各中学校それぞれ約40機ずつ設置予定である。また発電機内臓のガス式の外部機は8機程ずつ設置予定である。工事費の内容については山梨南中学校8千743万7千円、山梨北中学校9千280万5千円、笛川中学校7千799万8千円で中学校での工事費の合計は2億5千824万円である。



教育民生常任委員会での審査の様子

教育民生常任委員会委員会
 委員長 古屋雅夫
 副委員長 武井寿幸
 委員 木内健司 乙黒泰樹
 飯嶋賢一 小野鈴枝

学校給食施設の在り方検討委員会

市内学校給食施設と、甲州市学校給食センターの視察を行いました

山梨市議会議員全員で構成される「学校給食施設の在り方検討委員会」において、1月7日に市内小学校全11校のうち山梨地域内の7校の給食施設へ、1月13日に甲州市学校給食センターへ視察調査に伺いました。



市内給食施設では調理員さんとお話を交わしました

市内小学校給食施設の調査では、現地において施設等の状況について学校長および栄養

士からの説明を受けた後、調理員を交えての質疑応答による聞き取りを行いました。



学校給食センター内での視察の様子

甲州市学校給食センターの調査では、視察や栄養士からの説明を受けた後、質疑応答を行いました。配送車両4台で塩山地域の小中学校11校に配送しており、酸性水の使用等により生野菜の提供も可能とのことでした。また給排気システムによる汚染区域・非汚染区域の管理がなされているほか、食育推進のためのレクチャールームや、アレルギー対策としての専用調理室が設置されていました。



学校給食センターでは給食の試食等も行い、センター方式での調理状況を調査しました

議会活動日誌

11月

- ……第10回山梨市地域福祉大会、
第9回山梨市ボランティア大会(22日)
- ……文化協会山梨地区邦楽部第38回発表会
(23日)
- ……山梨・甲州地区戦没者遺族大会(25日)
- ……市長をかこむ座談会(加納岩地区)(25日)
- ……議会運営委員会(26日)
- ……議員全員協議会(26日)
- ……平成26年11月臨時会(28日)

12月

- ……平成26年12月定例会(1日～19日)
- ……第1回山梨市農業委員会総会(2日)
- ……市長をかこむ座談会(日下部地区)(5日)
- ……市長をかこむ座談会(山梨地区)(12日)
- ……議会運営委員会(18日)
- ……議員全員協議会(18日)
- ……学校給食施設の在り方検討委員会(18日)
- ……議会改革特別委員会(19日)
- ……西関東連絡道路万力ランプ～八幡南ランプ
開通記念ウォーク(20日)
- ……西関東連絡道路万力ランプ～八幡南ランプ
開通記念式典・開通式(22日)
- ……市長をかこむ座談会(八幡地区)(22日)



2月12日の学校給食施設の在り方検討委員会終了後、大竹裕子委員長が検討結果を集約した報告書を古屋忠城議長に提出しました。詳細については次号の議会だよりでお知らせします。

平成27年

1月

- ……New Year Festival 2015
Happy!! 初日の出(1日)
- ……平成27年山梨市消防出初式(4日)
- ……学校給食施設の在り方検討委員会
(市内学校給食施設視察)(7日)
- ……平成27年山梨市成人式(11日)
- ……学校給食施設の在り方検討委員会
(甲州市学校給食センター視察)(13日)
- ……議会改革特別委員会作業部会
(広聴広報部会)(13日)
- ……リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会
リニア活用策検討部会(14日)
- ……市長をかこむ座談会(日川地区)(14日)
- ……議会改革特別委員会作業部会
(議会運営部会)(15日)
- ……沖縄県うるま市議会行政視察受け入れ
(28日)

2月

- ……根津記念館歳時記イベント節分豆まき
(1日)
- ……議会運営委員会(2日)
- ……議員全員協議会(2日)
- ……学校給食施設の在り方検討委員会
(2日、12日)
- ……議会だより編集委員会(2日)
- ……山梨県市議会議長会合同研修会(後期)
(5日)
- ……第10回山梨市老人福祉大会(5日)
- ……第30回山梨県市町村自治講演会(5日)
- ……第10回自然と清流・果実の里
やまなし短歌大会表彰式(8日)
- ……市長をかこむ座談会(諏訪地区)(9日)
- ……議会改革特別委員会(12日)
- ……「学校給食施設の在り方検討委員会報告書」の
市長への提出(13日)
- ……市長をかこむ座談会(三富地区)(16日)
- ……市長をかこむ座談会(中牧地区)(18日)
- ……山梨ロータリークラブ45周年記念例会
(21日)
- ……「富士山の日」フェスタ山梨2015(23日)

3月定例会開催予定

- 2日(月) 開会
- 9日(月) 常任委員会
- 12日(木) 本会議
- 17日(火) 代表質問
- 18日(水) 一般質問
- 19日(木) 常任委員会
- 23日(月) 常任委員会
- 25日(水) 閉会

※全日程午前10時から開会予定

委員 大竹裕子
副委員長 古屋雅夫
委員 古屋忠城
古屋 弘和
飯嶋 健一
木内 健司
古屋 忠城
古屋 雅夫
大竹 裕子

市民の皆様のご要望もお寄せ下さい。古屋 雅夫
議会だより編集委員会
本市も3月には合併から10年の節目を迎え、本紙も40号となりました。多くの議会情報、報の発信や見やすい紙面づくりなど、各議員がそれぞれの立場で主体的に関わり作成してきております。今後はより親しまれる「議会だより」づくり(例えばカラー化など)に向け、さらに努力してまいります。

編集後記